

# しめのひとこと

志免町のいろんなひと、いろんなことをお伝えします！

4

## 意見を言える場の大切さ

参画の責任

たけしげ  
**武重**

まさたか  
**政隆**

住民参画推進委員会委員  
志免町総合計画審議会委員

志免町在住。62歳。30代のころから商工会や消防団で活動する。平成22～23年度にかけて実施された「志免町みんなの参画条例」策定のためのワークショップへ参加しその後、住民参画推進委員会委員となり8年目。現在は第6次志免町総合計画審議会の公募委員も務めるなど、町民として住民参画を体現している。



## 志免町に暮らすなかで いろいろな活動に携わる

僕は生まれも育ちも志免町。今は店を閉めたけど、以前は家族で呉服屋を経営していました。30代の頃からは町の商工会や消防団に所属して活動していたんだけど、そうした中で役場の職員さんたちと知り合う機会があって「町の審議会に参加してもらえませんか」って声をかけられたんです。それで審議会の委員などを引き受けるようになりました。

呉服屋では母が店番をしてくれていたから、僕がわりと時間を作りやすかったことも、こうした委員を引き受けていた理由の一つだね。



## 「志免町みんなの参画条例」の ワークショップで得た経験

そうやって役場の職員さんから声をかけられた中に「行政だけでなく町民や各種組織が町政に参画し、協働してまちづくりを進めるための根拠となる条例（のちの志免町みんなの参画条例<sup>※1</sup>）を志免町でつくることになりました。その条例を策定するためにワークショップがあるので参加しませんか」と

いう誘いがあった、参加することにしたんです。その中で、自分たちの話し合った意見や考えが形になっていく貴重な経験をすることができました。

その後、この条例に基づいて設置された住民参画推進委員会<sup>※2</sup>が発足するときには、ワークショップ参加者に対して「委員会のメンバーになりませんか」という声かけがあったんだけど、参画条例は自分が関わってつくられたものだし、関心があったからこの委員会のメンバーにもなりました。



## 町の最上位計画である総合計画の 審議会に公募委員として参加

今は、町の総合計画の審議会にも公募委員として参加しています。実は前回の総合計画のときも委員を務めていたんだけどね。どっちも役場の人から声をかけられたもので、正直誰も引き受ける人がいないから自分に声がかかるのかなと感じています。実際、委員の顔ぶれもあまり変わり映えしないしね。

この打診があったとき、最初は断わったんだけど、重ねてお願いされて、町の総合計画にちょっと興味があって勉強したいなと思ったのと、義理の気

持ちも手伝って、結局引き受けることにしたんだよね。

色々な審議会に参加していると、例えば「3回に一度しか出席しない」と割り切っている委員さんもいますが、僕は自営業だし、比較的時間の融通が利くので、できるだけ会議に出席するようにしています。顔を出さないと周りから信用されなくなると思うし、自分のモチベーションも下がっていくから。

## 住民としてまちづくりに参画する人、委員になる人に望むこと

ただ審議会などの委員に応募してみようと思っても、仕事の関係で時間が調整しづらい、だから手を挙げるのが難しいという人もいるかもしれない。これは地域の役員などにも同じことが言えるでしょうけど。

社会人としての信用に関わることだから「会社を休めない、だから参加できない」という声も理解はできる。それでも休みを取って会議に参加したい、引き受けるからには責任を持って役目を全うしたいという人が増えたらいいですね。

役場でも早めのスケジュール調整や土曜開催、夜間開催など、色々織り交ぜて試行錯誤しているからね。だから委員の側もシ〜ンとした審議会にならないように、自分の役回りをきちんと理解して、責任ある姿勢で臨んでほしいと思うこのごろです。

## 住民参画のその先を想像し、変化させていく

僕は参画条例をつくるためのワークショップに参加して、ゼロから条例をつくる経験をし、その中で様々な立場の人が集まって意見を出し、協議や合意形成をするプロセスそのものの必要性を感じました。実際このときは、回を重ねる中で出てきた参加者の意見がよく反映された条例となったから。

この参画条例は、町民が協働のまちづくりに参加する根拠となるもの、つまり町民の参画をシステムとして保障するもの。町の現状を良い方向に変えていくためには、参画する町民側の意識や姿勢が大事



参加する住民参画推進委員会での様子（令和2年10月）

なのはもちろんだけど、行政側も町民の意見を受け止めて施策に反映していくことで、より良い町に変えていくことができるんだと考えてほしいね。

たまに町民側から意見が出て「それはできない」と役場から即答する場面があるんだけど、なぜダメなのか、規則があるからダメなのか、じゃあその規則は変えることができないのかなど、きちんと協議、検討してよい方向に変えていってほしい。前例踏襲ばかりで仕組みを変えることに対して消極的な姿勢だと、いくら参画条例があっても、まちづくりに対する住民の参画を進めるのは難しい。

町民の立場で出た意見や提案をみんなで考えて、住民参画の結果をより良いものにしていくために、参加する町民の側にも行政の側にも意識の変化が求められていると感じます。

## 取材を終えて

所属組織を通じて引き受ける関わり方が、いつしか自分の関心から参画するように変化していく様子と、住民参画のこれからを意識しながら審議会委員として積極的に関わる姿勢が伝わりました。

※1) 志免町みんなの参画条例  
町民が主体的に町政に参画する権利や機会を保障し、町民と行政とが対等な立場に立って協働のまちづくりを進めることを基本理念として町民の行政への参画を推進するために平成24年4月1日から施行

※2) 住民参画推進委員会  
※1)に基づき住民参画を適正に運用するとともに、住民参画をより一層推進することを目的として設置するもの。町長に意見を述べるができる。

